



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「**2014年春の年会**」開催のお知らせです。当学会では、東京電力福島第一原子力発電所事故について、その収束と今後の教訓に資するため、学術的、技術的見地から検討を行っていますが、**本年会においては、各部会等における検討状況などを一般公開セッションにて行うことといたしましたのでご案内いたします。**

日本原子力学会「**2014年春の年会**」開催

主な一般公開セッション（入場無料）のお知らせ

3月26日～28日 東京都市大学 世田谷キャンパス

期日：2014年3月26日(水)～28日(金)

場所：東京都市大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区玉堤 1-28-1)

(<http://www.tcu.ac.jp/access/index.html>)

主催：一般社団法人日本原子力学会 (<http://www.aesj.or.jp/>)

福島第一原子力発電所事故関連の一般公開セッションは、すべてA会場(2号館1階21C)で行います。

3月26日(水)

10:00～12:00 「福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会 最終報告」(学会事故調)

- ・福島第一事故から得られた提言 学会事故調委員長 田中 知
- ・パネルディスカッション「提言・学会の役割と責任」

13:00～14:30 「原発事故避難者の早期の帰還実現のために…」(社会・環境部会、保健物理・環境科学部会)

- ・福島県下における環境放射線の現状と個人線量の測定例 近畿大学 山西弘城
- ・20km 圏内への早期の帰還実現に向けての提案 地域メディアエーター 半谷輝己
- ・総合討論

14:35～16:05 「倫理規程の改定－原子力発電所事故の発生を踏まえて－」(倫理委員会)

- ・技術者倫理、規制の倫理、報道の倫理 北海道大学 奈良林 直
- ・倫理規程改定の概要 倫理委員長 東京工業大学 大場恭子
- ・会場参加者とのディスカッション

16:10～17:10 特別講演「原子力安全の確保にむけて」

- ・原子力学会と安全確保の課題について 東京都市大学 北澤宏一
- ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた今後の安全規制 原子力規制委員会 更田豊志

17:15～18:15 「今後の原子力の方向と学会の役割」

- ・挨拶・活動概要報告・今後の原子力の方向と学会の役割 会長 堀池 覚
- ・「学会事故調」からの提言 学会事故調委員長 田中 知
- ・福島の実地修復に向けて 副会長 藤田玲子
- ・行動指針と倫理規程の改定について 行動指針改定WG、倫理委員長 大場恭子

裏面へつづく

本件に関する取材等お問合せ先
日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp



3月27日(木)

- 10:30~12:00 「地震 PRA 実施基準の改訂について」(標準委員会 リスク専門部会)
- ・実施基準改訂のポイント 東京都市大学 平野光将
 - ・地震ハザード評価 JNES 蛭沢勝三
 - ・建屋・機器フレンジー評価 大阪大学 山口 彰
 - ・事故シーケンス評価 東京都市大学 村松 健
- 14:40~16:10 「原子力プラントの長期にわたる安全確保の取り組み」(標準委員会 システム安全専門部会)
- ・規制制度の概要(安全性向上評価、高経年化対策他) 原子力規制庁 坂内俊洋
 - ・PSR 実施基準の改定の概要 東京大学 岡本孝司
 - ・PLM 実施基準の改定の概要 原子力エンジニアリング 三山彰一
- 16:20~17:50 総合講演・報告 2「原子力における水素安全の課題と対策」(水素安全対策高度化特別専門委員会)
- ・水素安全対策高度化特別専門委員会の活動報告 東京都市大学 村松 健
 - ・NEA における水素安全対策に向けた取り組み JAEA 中村秀夫
 - ・水素安全解析評価システムの構築に向けた取り組み JAEA 寺田敦彦
 - ・原子炉事故時の放射線分解による水素発生評価に向けた取り組み JAEA 永石隆二
 - ・水素燃焼/爆発、火災伝播、爆燃/爆轟にかかわる課題 長岡技術大学 門脇 敏
 - ・原子力における水素対策安全高度化ハンドブックの作成 長岡技術大学 小川 徹

3月28日(金)

- 9:50~12:00 「原子力防災の課題と取り組みーより実効性の高い原子力防災対策の構築に向けてー」
(原子力安全部会)
- ・緊急事態への備えと対応ー国際基準と福島の実例ー JAEA 本間俊充
 - ・原子力防災体制について 原子力規制庁
 - ・避難計画の現状と課題 島根県 島田範明
 - ・総合討論 (司会) 日本原子力発電 新田隆司
- 13:00~14:30 「原子力発電の安全性向上への取り組み(その3)」(原子力発電部会)
- ・原子力安全の更なる安全性向上に向けた技術開発 東芝 新井健司
 - ・原子力緊急事態支援組織について 日本原子力発電 野崎広治
- 14:40~16:10 「原子力安全確保のための基本的な技術要件」(標準委員会 原子力安全検討会, 分科会)
- ・原子力安全の目的・基本原則と技術要件の関係 大阪大学 山口 彰
 - ・原子力安全確保のための技術要件の考え方 名古屋大学 山本章夫
 - ・福島第一事故の教訓の反映と技術要件の体系化 原子力安全推進協会 平川博将

※ その他のセッションについては、当学会「2014年春の年会」HPをご覧ください。

http://www.aesj.or.jp/meeting/2014s/j/J14Spr_TOP.html

年会を取材される報道機関の皆様へ

本年会の取材をご希望の際は、以下の手順でお手続きをお願いいたします。

1. 年会総受付(2号館1階21A)へお越しいただき、受付担当者へ名刺をお渡しください。
2. 「取材申込用紙」に氏名・社名、取材を希望されるすべてのセッション名(または会場名)をご記入ください。
3. 「報道関係者」の名札をお渡ししますので、名札を必ず付けて、取材希望セッション会場へお入りください。
4. 会場へ入られましたら、取材を開始する前に、当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。また、同会場で複数のセッションを取材する場合は、その都度当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。
個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長へ取材の許可を得てください。
会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
5. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

本件に関する取材等お問合せ先
日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail : meeting@aesj.or.jp